

社会学研究科入学試験問題(修士課程)

専門科目 「社会学」

【解答における注意事項】

1. 次ページ以降に問1と問2があります。その両方に解答しなさい。問1と問2の解答は、それぞれ所定の解答用紙に書きなさい。
2. それぞれの解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名、および、(以下の説明にしたがって)あなたが選んだ設問番号も書きなさい。
3. 問1・問2それぞれについて、(1)～(3)の3つの設問があります。そのなかから、あなたが入学志願者調書C(出願書類の一つ)に記述した研究計画の研究領域にもっとも近いと考える専攻分野の設問、1問を選び、問1・問2それぞれについて解答しなさい。

科目「社会学」

問1 以下の設問(1)(2)(3)から1問を選び、問1用の解答用紙に解答しなさい。その際、受験番号と氏名を書いた上で、選択した設問の番号を明記すること。

(1) ①社会名目論(方法論的個人主義)、および、②社会实在論(方法論的集合主義)の各々の立場の意味を、社会学の概念や理論、学説を用いて説明しなさい。その上で、①・②のそれぞれの立場を批判する反論を、21世紀以降の現代社会に現れている複数の、具体的な社会現象・事例を挙げながら、社会学の概念や理論、実証的研究の成果を用いて、①・②それぞれについて論じなさい。

(2) 沈黙の螺旋理論について説明し、この理論が今日のメディア環境においてなお有効なものであるか否かを具体的な事例を踏まえながら論じなさい。

(3) AI時代における宗教のあり方(機能や限界など)を文化人類学の観点から具体的に論じなさい。

問2 以下の設問(1)(2)(3)から1問を選び、問2用の解答用紙に解答しなさい。その際、受験番号と氏名を書いた上で、選択した設問の番号を明記すること。

(1) 社会調査において、調査者の自己、調査する自己は、どう位置づけられるか。どのような議論がなされてきた(いる)かを詳しく説明したうえで、具体的な場面を挙げながら論じなさい。さらに、それらの議論はあなたの研究にどのように活かされるのか述べなさい。

(2) 以下の研究報告について、どのような方法論上の問題点(調査計画、分析方法、結果の解釈など)が考えられるか指摘し、なぜ問題となるのか説明しなさい。回答は日本語または英語で行うこと。

「収入が幸福感に与える影響を調べるために、日本のある大学の講義で受講生を対象にアンケート調査を行った($N=100$)。回答者の個人年収、世帯年収、同居家族の人数、年齢、学年と所属学部、標準的なパーソナリティ尺度(TIPI-J)、そして幸福感(「あなたは幸福ですか」に はい/いいえ で回答する単項目)を尋ねた。幸福感を目的変数とする最小二乗法による重回帰分析を行った。説明変数をさまざまに組み合わせ分析を繰り返したところ、個人年収、世帯年収、年齢、学年、同居家族人数、外向性と誠実性を説明変数としたモデルにおいて、個人年収の偏回帰係数が有意($p < .05$)となった(注)。偏回帰係数が負の値を示していたことから、収入が増えると幸福感は大きく下がると結論した。」

注:p値の調整は行われていない。

(3) 近年新しいメディアが続々と生み出されているが、こうした動きは従来の文字を中心に作成されてきた民族誌をどのように変えていけるだろうか。あなたの考える可能性と問題点について論じなさい。

科目「心理学」

下記の7問から5問を選択して解答しなさい。

1. 心理尺度の「信頼性」と「妥当性」についてそれぞれの意味について具体的に説明し、それぞれを確認するための方法についても説明しなさい。
2. 視覚と聴覚の多感覚情報の相互作用について説明せよ。特に視覚、聴覚の得意な点にふれつつ、具体的な視聴覚統合の現象（効果、錯覚）についても述べなさい。
3. 感情の社会的機能について論じなさい。
4. メタ認知という構成概念を想定する利点と欠点について述べなさい。
5. 神経活動を可視化する主要な手法を3つ挙げ、それぞれの利点と弱点について述べなさい。
6. 知能とは何か、代表的な知能理論に言及しながら述べなさい。
7. 新生児期から4、5歳までに共感性はどのように発達してくるか、説明しなさい。

科目「教育学」

※ 以下の指示に従って問いに答えなさい。

- ◇ 【問題Ⅰ】 と 【問題Ⅱ】 はそれぞれ別の解答用紙に記入すること。
- ◇ 【問題Ⅱ】 については、選択した問題番号を必ず解答の冒頭に記入してから解答すること。

【問題Ⅰ】

「画一的な学校教育」の象徴としてしばしば一斉授業が取り上げられ、批判の対象となる傾向がある一方で、これが社会に蓄積された様々な資源や財の分配をもたらしているという見方もあります（柏木、2024）。

「画一的な学校教育」から「多様性を尊重する学校教育」への転換の動向について、貴君の教育学的関心に基づいて批判的・論理的に論じなさい。

参考：柏木智子「個別最適な学びと義務教育一審議会等での論点と課題一」『日本教育政策学会年報』第 31 号、2024 年、102～109 頁。

【問題Ⅱ】 以下 6 問の中から 1 問を選択し、解答の冒頭に問題番号を明記した上で解答すること。
問題Ⅰとは別の解答用紙に記入すること。

- 問 1 「教育」と「教授」および「学習」はどのような関係にあるか。教育哲学的観点から論じなさい。
- 問 2 貴君が修士課程で研究しようとしている研究課題を示した上で、当該研究課題が先行研究並びに教育史、或いは教育思想史の中でどのように位置づくのか説明しなさい。
- 問 3 比較教育学を確立させた研究者の一人アイザック・キャンデルは、「ある国家の教育制度や実践を他の国家や民族にそのまま移植することは、根本的な適応や修正なしには不可能であり、そのような試みは、移植先の国家の伝統、独自の特質、特有の社会・経済・政治的状态を冒瀆するリスクを伴う」と述べている（I.L.Kandel, *Comparative Education*, 1933, p.14）。
あなたはこの指摘についてどのように考えるか。修士課程で研究したい具体的なテーマに関連させて、説明せよ。
- 問 4 幼児期における「自己中心性」と青年期における「自己中心性」の違いについて、具体的な例を挙げながら説明しなさい。
- 問 5 学校の授業における児童・生徒の学習を促進する教育環境のあり方について、教育心理学の観点から自由に論じてください。その際、3つ以上の教育心理学の用語または理論を引用しながら論じること。また、そこで引用する各用語、理論の簡潔な説明を列記してから、論述を始めること。
- 問 6 「主体的に学びに向かう態度」の評価について学校現場でも教育行政機関においても昨今多様に議論されている。あなたは「主体的に学びに向かう態度」の評価をめぐる議論につきどのような見解を有しているか。自身が参照している教育評価論の基本的理解も示しながら論じてください。